

柳町まちづくりの会だより

第八回 編集者

柳町まちづくりの会広報部会
八木正彦・榎本吉典・中居清次

本格的なまちづくりの起動

1月26日(水)午後7時より第10回柳町まちづくりの会以後まち会といつこの本会議が行なわれた。川上副会長より前回決まったまち会の目標が読み上げられ再確認した後、今回の会議で決めるまち会で議論を進めるエサアや新規役員の選出方法、規約作りなどが討議された。会員より「まち会をつくるきっかけのひとつには道路拡幅により、道路が立派になった反面、商店が消えて殺伐とした町になる。なんている結末にはしたくない。」との危機感が語られた。「エリア決めに当たっても町会・商店街レベルではなく、道路拡幅される柳町・薬王寺の高側を重点地区と定めたエサアではどうか。」「別の会員からは「定められた商業地区といつものがあるのだから信号の回つ側も将来のまちの統一感が出ないのではないか。」などの意見が出た。

まちづくり相談員の大戸さんの意見として、「まちづくりにはこのパターンがある。建物の建て方や景観のルールなどを決めようとする場合、地区計画の作成が目標になるので、ルールを決める範囲(エサア)をはっきりさせて、多くの人々の賛同を得る必要がある。一方、町の歴史を発掘したり、まちづくりのためのイベントを開催したりする場合なら、必ずしもエサアを厳密に決める必要はないと思います。当地区は両方の性質を併せ持ったまちづくりになると思うので、柳町をまちづくりの範囲としつつも、柔軟にまちづくりを進めていけばよいと思う。」とのことでした。色々意見も出戻くしたところ、次のことが決まりました。【まち会は柳町全体をエサアとする。町会加盟者約200所帯以上に対し書面をもって連絡を行い、4月の大会議に参加を呼びかけ、新規役員人事および規約案の公開を行い、承認を得る事とする。】
【熱い議論の中、まち会の在り方を真剣に見据える会員の思いが、良いまちを創る原動力になるようにしよう。】

小会議

2月14日(月)にあった小会議で、「まち会の規約」を検討しました。内容に過不足があるか、不明瞭な面はないかなど、の整理を行ない、本会議に持ち込み、会員の意見を聞けるものができあがった。これを基に新生まち会の構成も考えます。

斉藤一ツアー報告

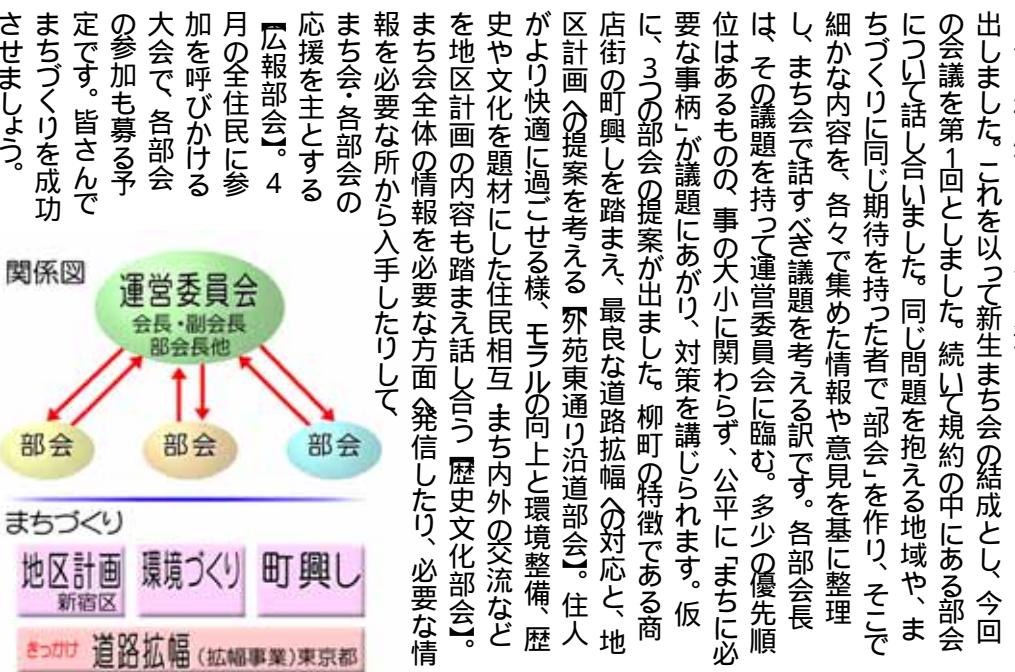
あさくら歴史探偵と歩く斉藤一ツアーが2月13日に行なわれました。御茶ノ水から本郷を通り試衛館道場のあった市谷柳町まで、本当に近いところに斉藤一の人生もあつたよを痛感しました。



<http://www.asahi-net.or.jp/~gd8s-nkt/shietkan/>

規約の制定と関係図

2月23日(水)午後7時より第11回柳町まちづくりの会の本会議が開催されました。前回の小会議で検討した規約案の改定版を元に、まち会のあり方を会員の皆様と検討しました。まずは、まち会の目的や存在意義を再確認して、運営する為の「まち会の規約」について話しました。メンバーは柳町全域とまち会に協力したい者として、原則個人参加として、会員相互の信頼の元にまちづくりの積極的協力を行なうものとなりました。又、まち会の運営を行なう運営委員会を構成するメンバーを選出しました。これを以て新生まち会の結成として、今回の会議を第1回としました。続いて規約の中にある部会について話し合いました。同じ問題を抱える地域や、まちづくりに同じ期待を持った者で「部会」を作り、そこで細かな内容を、各々で集めた情報や意見を基に整理し、まち会で話すべき議題を考える訳です。各部長は、その議題を持って運営委員会に臨む。多少の優先順位はあるものの、事の大小に関わらず、公平に「まちに必要なる事柄」が議題にあがり、対策を講じられます。仮に、3つの部会の提案が出ました。柳町の特徴である商店街の町興しを踏まえ、最良な道路拡幅への対応と、地区計画への提案を考える「外苑東通り沿道部会」。住人がより快適に過ごせる様、モラルの向上と環境整備、歴史や文化を題材にした住民相互・まち内外の交流などを地区計画の内容も踏まえ話し合う「歴史文化部会」。まち会全体の情報が必要な方面発信したり、必要な情報を必要な所から入手したりして、まち会・各部会の応援を主とする「広報部会」。4月の全住民に参加を呼びかける大会で、各部会の参加も募る予定です。皆さんでまちづくりを成功させましょう。



【第1回の日程】3月17日(木)薬王寺福祉会館2階夜7時より。住民の皆様積極的な参加をお待ちしています。

「ご意見・ご質問などがございましたら町づくりの会事務局(川上) 三三四一・三三九七・広報部会(八木) 三三四一・九八八七まで連絡して下さい。」
<http://www.asahi-net.or.jp/~gd8s-nkt/machi/>